

2023年度大学評価等の結果について

(1) 大学基準協会の大学評価

本協会は、2004年にわが国初の大学機関別認証評価機関として文部科学大臣に認証され、爾来、認証評価としての大学評価を実施しています。

本協会の大学評価は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」（公益財団法人大学基準協会定款第3条）という目的に基づいて行っています。より具体的には、

- ① 本協会が定める大学基準に基づき大学の諸側面を包括的に評価することを通じて、大学の教育・研究活動等の質を社会に対し保証すること
- ② 大学評価結果及びこれを踏まえた改善報告書の検討結果を通じて、大学の改善・向上を継続的に支援すること
- ③ 評価を通じて大学の社会的存在理由を明らかにすることに貢献し、大学が社会に対して説明責任を果たしていくことを支援すること

という目的のもと行っています。

特に、社会に対して保証する大学の質については、当該大学が自身の掲げる理念や目的の達成に向けた活動を行っていること、内部質保証システムが有効に機能し、教育の充実と学生の学習成果の向上に結びついていることを重視しています。内部質保証システムについては、第2期認証評価（2011年度～2017年度）においてシステムの構築を求めましたが、2018年度から開始した第3期認証評価では、内部質保証システムの機能的有効性に重きを置いています。

大学評価は、本協会が定める大学基準に沿って評価を行い、評価結果において大学基準に適合しているか否かを判定します。重大な問題が認められた場合は、大学基準に適合していない（以下「不適合」という。）と判定し、不適合の判定となった大学は、不適合の原因となった事項について追評価を申請することができます。

(2) 大学評価等の組織体制

2023年度の大学評価においては、申請大学に対応して次のような組織体制を整え、具体的な評価活動を行いました。

まず、「大学評価委員会」（委員長・副委員長を含めた委員20名、幹事5名、特別大学評価員1名）の下に、43の「大学評価分科会」に加え、「大学財務評価分科会」及び「改善報告書検討分科会」を設置しました（体制図参照）。

「大学評価委員会」は、本協会正会員大学から推薦された候補者、理事会の推薦による者及び理事会が選出した外部有識者によって構成されています。その他に、同委員会の推薦による幹事を置いています。また、特別大学評価員は、理事会で選出し、大学評価における幹事の役割に加えて、実務的な役割を担っています。

「大学評価分科会」は、各大学の財務を除く諸活動全体を評価することを目的とし、こ

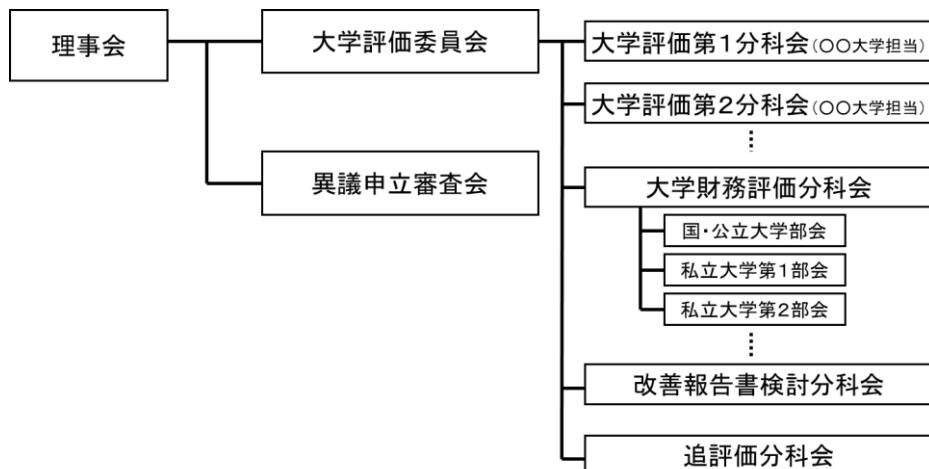
これまで同様、1大学につき1つの分科会を設置しました。構成は、原則として主査1名と委員4名の計5名の評価者からなっており、必要に応じて主査を補佐する幹事を配置しました。

「大学財務評価分科会」（主査・委員あわせて10名）においては、大学財務評価の指標や方法の検討を行うとともに、分科会の下部に7の部会を設け、そこで評価された内容の調整を行いました。具体的には、国・公立大学については、申請3大学に対して1の国・公立大学部会（主査・委員あわせて3名）を設置して評価を行い、私立大学については、申請40大学に対してそれぞれ設置する学部の種類に対応して設置した6の私立大学部会（主査・委員あわせて24名）で分担して評価を行いました。

また、「改善報告書検討分科会」（主査・委員あわせて8名と特別大学評価員1名）においては、大学評価を受けた大学より申請年度から4年後（評価結果を受け取ってから3年後）までに提出される「改善報告書」に基づき、改善状況の書面評価を行いました。今年度は、31の大学から「改善報告書」が提出され、これらのすべてを同分科会で検討しました。

したがって、2023年度の大学評価は、延べ280名の委員と5名の幹事、1名の特別大学評価員が関わり実施したことになります（委員会、分科会、部会の名簿については（10）参照）。

体制図



（3）2023年度大学評価への申請大学

(私立)	愛知淑徳大学	(私立)	藍野大学
(公法)	愛媛県立医療技術大学	(私立)	大阪経済大学
(私立)	北里大学	(私立)	岐阜聖徳学園大学
(私立)	共愛学園前橋国際大学	(私立)	京都産業大学

(私立)	京都橘大学	(私立)	皇學館大学
(私立)	神戸女子大学	(公法)	静岡県立大学
(私立)	社会構想大学院大学	(私立)	順天堂大学
(私立)	城西国際大学	(私立)	城西大学
(私立)	上智大学	(私立)	情報セキュリティ大学院大学
(私立)	昭和薬科大学	(私立)	成蹊大学
(私立)	聖心女子大学	(私立)	聖マリアンナ医科大学
(私立)	聖隸クリストファー大学	(私立)	大東文化大学
(私立)	高崎健康福祉大学	(私立)	中央大学
(私立)	つくば国際大学	(私立)	東京歯科大学
(私立)	東京慈恵会医科大学	(私立)	東京女子大学
(私立)	東京電機大学	(私立)	東京都市大学
(私立)	東北福祉大学	(私立)	東洋英和女学院大学
(私立)	獨協医科大学	(私立)	豊田工業大学
(私立)	長浜バイオ大学	(私立)	名古屋外国語大学
(私立)	ノートルダム清心女子大学	(私立)	白鷗大学
(公法)	広島市立大学	(私立)	藤女子大学
(私立)	明治薬科大学		

(大学名五十音順)

(4) 大学評価の経過 (2023 年度の大学評価のスケジュールは (11) 参照)

① 評価プロセスの運用方法について

2023 年度大学評価は、評価者に対する各種研修としてオンライン会議システムを用いた評価者研修セミナーを開催するとともに、基準の解説等の動画を配信しました。また、委員会、分科会等の各種会議についても、オンライン会議システムを併用して実施しました。

② 書面による評価

各分科会に所属する主査・委員・幹事には、評価に先立ち、評価方法、評価者倫理等に関する研修を通じて評価に必要な情報共有を行いました。その後、各大学の自己点検・評価の結果をとりまとめた点検・評価報告書、基礎要件確認シート、大学基礎データ及びその他根拠資料をもとに、各委員が「大学評価結果（分科会原案）」を分担執筆しました。

各分科会では、「大学評価結果（分科会原案）」をもとに主査が作成した「大学評価結果（主査原案）」に基づき、書面による評価を行いました。また、その結果を踏まえて各委員が「大学評価結果（主査原案）」を修正し、主査が全体調整を図ったうえで、「大

学評価結果（分科会案）」としてとりまとめました。くわえて、各分科会は、書面評価において事実確認が出来なかった点等を質問事項にとりまとめ、これを実地調査前に「大学評価結果（分科会案）とともに当該大学へ送付し、回答を得ました。

③ 大学評価における実地調査の実施

各分科会における書面評価終了後に、大学評価に申請のあった 43 大学のすべてに対し訪問して実地調査を実施しました。なお、実地調査にあたっては、状況に応じて、オンライン会議システムを併用してこれを行いました。

実地調査の主な目的は、十分な資料・情報等を収集し、評価の正確性を期すことにあります。当日（2日間）は、書面評価の過程で発生した疑問点に関する質疑応答を行うとともに、教職員との意見交換の時間を設け、大学と評価者間でのディスカッションを十分に行うことに努めました。また、学生インタビューを通じて実地調査の実効性を高めるとともに、必要に応じて書面のみでは把握の難しかった施設・設備の状況などを確認しました。

④ 大学評価委員会における「大学評価結果（案）」の作成

各分科会において、実地調査等の結果を反映させた「大学評価結果（分科会最終案）」をもとに、まず「大学評価委員会」の委員長・副委員長・幹事・特別大学評価員による会合（正副委員長・幹事会）において審議し、「大学評価結果（委員長案）」をとりまとめました。その後、「大学評価委員会」で同委員長案を審議して「大学評価結果（委員会案）」を作成し、当該大学へ送付しました。

「大学評価結果（委員会案）」を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、「大学評価結果（委員会案）」に対して意見を申し立てることができます。今年度は、大学評価申請 43 大学のうち 31 大学から意見申立がありました。これを受け、「大学評価委員会」では、当該大学からの意見内容や提出された資料に基づき、事実誤認の有無及び申し立てられた意見の採否を審議し、「大学評価結果（委員会案）」に対して必要な修正を行い「大学評価結果（案）」を作成しました。

⑤ 理事会による大学評価結果の承認

「大学評価委員会」が作成した「大学評価結果（案）」については、2024年3月26日開催の第 547 回理事会に諮りました。その結果、43 大学すべての大学評価結果について承認を得て、本年度の大学評価が終了しました。

(5) 大学評価結果の概要

① 大学評価の結果、大学基準への適合認定を行った大学

2023年度の大学評価を申請した前述の43大学のうち、以下の42大学について大学基準に適合していると認定しました。

(私立)	愛知淑徳大学	(私立)	藍野大学
(公法)	愛媛県立医療技術大学	(私立)	大阪経済大学
(私立)	北里大学	(私立)	岐阜聖徳学園大学
(私立)	共愛学園前橋国際大学	(私立)	京都産業大学
(私立)	京都橘大学	(私立)	皇學館大学
(私立)	神戸女子大学	(公法)	静岡県立大学
(私立)	社会構想大学院大学	(私立)	順天堂大学
(私立)	城西大学	(私立)	上智大学
(私立)	情報セキュリティ大学院大学	(私立)	昭和薬科大学
(私立)	成蹊大学	(私立)	聖心女子大学
(私立)	聖マリアンナ医科大学	(私立)	聖隸クリストファー大学
(私立)	大東文化大学	(私立)	高崎健康福祉大学
(私立)	中央大学	(私立)	つくば国際大学
(私立)	東京歯科大学	(私立)	東京慈恵会医科大学
(私立)	東京女子大学	(私立)	東京電機大学
(私立)	東京都市大学	(私立)	東北福祉大学
(私立)	東洋英和女学院大学	(私立)	獨協医科大学
(私立)	豊田工業大学	(私立)	長浜バイオ大学
(私立)	名古屋外国語大学	(私立)	ノートルダム清心女子大学
(私立)	白鷗大学	(公法)	広島市立大学
(私立)	藤女子大学	(私立)	明治薬科大学

(大学名五十音順)

② 大学評価結果の構成

各大学に提示する大学評価結果は、「I 判定」「II 総評」「III 概評及び提言」で構成しています。

「I 判定」では、大学基準に適合しているか否かの判断及び適合の場合はその認定期間を記載し、「II 総評」では、各大学の理念・目的や内部質保証の状況、当該大学の優れた点や課題を含む特徴的な事項など今回の大学評価における総合的な評価の状況を記載しています。

「III 概評及び提言」は、大学基準を構成する 10 の基準ごとに、概評及び提言で構成しています（基準 10 は（1）大学運営、（2）財務にわけて記載）。このうち概評は、大学基準に基づく点検・評価項目ごとに、該当する大学の取り組み・現状に対する評価

の概要を記述しています。提言は、概評に記述した取り組みのうち、特記すべき事項が認められる場合に記述しており、長所、是正勧告及び改善課題の3種類があります。

長所は、大学が掲げる理念・目的の実現に資する事項であり、有意な成果が見られる（期待できる）もの、又はわが国の高等教育において先駆性もしくは独自性のある事項であり、有意な成果が見られる（期待できる）ものを示しています。

是正勧告及び改善課題は、いずれも必ず改善を求めるものを示していますが、是正勧告は基礎要件の重度の不備、又は大学としての相応しい水準を確保するために重大な問題があり、必ず改善を求めるもの、あるいは、前述の問題にはあたらないものの、理念・目的の実現のために抜本的な改善を必ず求めるものを示しています。一方、改善課題は基礎要件の軽度の不備、又は大学としての相応しい水準を確保するために問題があり、必ず改善を求めるもの、あるいは、前述の問題にはあたらないものの、理念・目的の実現のために改善を必ず求めるものを示しています。

③ 大学基準への適合認定を行った大学に対する提言

大学基準への適合認定を行った大学のうち、長所を付した大学は41大学、是正勧告を付した大学は18大学、改善課題を付した大学は40大学となりました。各提言を付す際には、申請資料に基づく書面評価や実地調査の結果に加え、前述の意見申立等による意見を参考に、実態に即した指摘となるよう留意しました。

是正勧告・改善課題が付された大学は、それらの事項についての改善状況をとりまとめ、本協会が指定する期日（原則として大学評価結果を通知してから3年経過後の7月末）までに改善報告書を提出することになっています。

④ 大学評価の結果、不適合と判定した大学に対する提言

2023年度に大学評価を申請した43大学のうち1大学（城西国際大学）については、「大学基準」に適合していないと判定しました。

不適合と判定した大学に対しては、大学評価結果の送付から2週間の期間を設け、異議の申立てができる旨を通知しました。現在（大学評価結果の公表日時点）は、異議申立ての受付期間となっています。

(6) 改善報告書について

前述のとおり、本協会では、大学評価結果において、必要に応じて長所、是正勧告、改善課題を付していますが、是正勧告を付された大学は、指摘された重大な問題について、抜本的な改善を行い是正することが求められます。また、改善課題を付された大学は、指摘された事項について十分に検討し、改善することが求められます。

是正勧告や改善課題を付された大学は、それぞれの指摘にかかる改善状況について、改善報告書をとりまとめ、原則として2027年7月末までに、これを本協会宛に提出する

ことになります。

この改善報告書の制度は、本協会の大学評価における特色のひとつであり、改善報告書の評価を通じて、大学の改善・改革を継続的に支援するための重要なシステムです。

(7) 新型コロナウイルス感染症の下での教育の質保証に関する評価について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、授業を対面からオンラインに切り替えるなど、通常とは異なる各種対応・対策がとられていることを踏まえ、あらかじめ新型コロナウイルス感染症の影響下での教育の質保証の取り組みについて自己点検・評価することを求め、書面評価及び実地調査において取り組みの確認を行いました。

(8) 改善報告書の検討について

本協会では、大学評価結果において付した改善課題、是正勧告について、前述の期日までに大学にて改善状況をとりまとめ、本協会まで報告することを求めていきます。その内容をもとに各提言の改善状況の書面評価を行い、第3期認証評価を受けた大学については、その結果を「改善報告書検討結果」として公表することとしています。今年度は、2019年度申請の30大学、2020年度申請の1大学から改善報告書が提出され、「改善報告書検討分科会」において改善状況の検討を行い、「大学評価委員会」、理事会を経て「改善報告書検討結果」を承認しました。なお、その過程で「改善報告書検討結果（委員会案）」に対する大学からの意見申立を受け付けました。

(9) 大学基準協会の評価の充実に向けて

本協会は、1947年に国・公・私立大学による自律的な大学団体として設立された後、大学が適切な水準を維持し、その向上を図るための指針として大学基準を定め、これに基づく評価活動を展開してきました。1996年には、大学の自己点検・評価に基づく評価システムを確立し、2004年度にわが国で認証評価制度が始まってからも、透明性・公正性の高い第三者評価機関としての役割を果たすべく、これまで培ってきた実績をもとに大学評価システムの改善・充実に取り組んできました。

特に、2011年度からの第2期認証評価では、大学自らが教育等の活動を改善し、その質を保証する仕組みとして内部質保証システムの構築を求め、大学自身による質保証を重視した評価を実施しました。2018年度からの第3期認証評価では、これを更に進めて内部質保証システムの有効性に着目した評価へと進化すべく、大学基準を体系化するとともに、効率的な評価方法の構築、評価者研修の充実などに取り組みました。第3期認証評価の6年目となった本年度の経験を生かし、評価の精度を高めるべく次年度以降も改善に努めてまいります。

今後とも、大学基準協会は、社会の期待に応える大学評価へと発展させる努力を行ってまいりますので、何とぞご支援いただきますようお願いいたします。

(10) 2023年度大学評価関係委員会等名簿

① 2023年度大学評価委員会名簿

役名	氏 名	所 属 名
委員長	木 村 彰 方	東京医科歯科大学
副委員長	廣瀬 克哉	法政大学
委員	石崎 規生	東京都立桜修館中等教育学校
〃	猪股 俊光	岩手県立大学
〃	宇佐 美毅	中央大学
〃	岡田 幸宏	同志社大学
〃	片山 英治	野村證券株式会社
〃	加藤 知	関西学院大学
〃	小林 浩	リクルート 『カレッジマネジメント』
〃	駒村 圭吾	慶應義塾大学
〃	佐野 慶子	佐野公認会計士事務所
〃	杉本 和弘	東北大学
〃	竹内 比呂也	千葉大学
〃	中尾 泰士	北九州市立大学
〃	中野 美由紀	津田塾大学
〃	中村 信次	日本福祉大学
〃	半藤 英明	熊本県立大学
〃	船越 明子	神戸市看護大学
〃	水谷 工	読売新聞大阪本社
〃	溝上 智恵子	筑波大学
幹事	佐藤 賢一	京都産業大学
〃	島本 英樹	大阪大学
〃	白川 優治	千葉大学
〃	高田 英一	神戸大学
〃	半田 勝久	日本体育大学
特別大学評価員	前田 早苗	公益財団法人大学基準協会

② 2023年度大学評価委員会大学評価分科会名簿

第 1 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	駒 村 圭 吾	慶 應 義 墓 大 学
委員	澤 田 道 夫	熊 本 県 立 大 学
委員	白 川 佳 子	共 立 女 子 大 学
委員	棕 平 淳	大 阪 工 業 大 学
委員	梅 本 勝 敏	桜 美 林 大 学

第 2 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	田 中 韶	鳥 取 看 護 大 学
委員	日 比 谷 信	藤 田 医 科 大 学
委員	福 島 裕 子	岩 手 県 立 大 学
委員	矢 倉 千 昭	聖 隸 ク リ ス ト フ ア ー 大 学
委員	鹿 沼 行 央	東 京 家 政 大 学

第 3 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	船 越 明 子	神 戸 市 看 護 大 学
委員	小 室 佳 文	東 京 医 科 大 学
委員	佐 藤 友 紀	常 葉 大 学
委員	渡 辺 尚 子	東 邦 大 学
委員	赤 司 博 文	中 村 学 園 大 学

第 4 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	大 屋 幸 恵	武 藏 大 学
委員	金 栄 緑	熊 本 学 園 大 学
委員	坂 本 真 佐 哉	神 戸 松 蔭 女 子 学 院 大 学
委員	鈴 木 刚	北 星 学 園 大 学
委員	石 田 和 彦	立 教 大 学

第 5 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	高 橋 和 男	藤 田 医 科 大 学
委員	伊 関 峰 生	東 邦 大 学
委員	小 川 久 貴 子	東 京 女 子 医 科 大 学
委員	三 谷 匠	近 畿 大 学
委員	菌 田 忠 明	福 岡 大 学
幹事	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学

第 6 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	関 口 理 久 子	関 西 大 学
委員	田 口 理 恵	共 立 女 子 大 学
委員	古 川 徹 也	東 京 国 際 大 学
委員	古 相 正 美	中 村 学 園 大 学
委員	斎 藤 宏 充	同 志 社 女 子 大 学

第 7 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	向 井 秀 忠	フ ェ リ ス 女 学 院 大 学
委員	高 井 弘 弥	元 武 庫 川 女 子 大 学
委員	中 島 裕 喜	南 山 大 学
委員	橋 本 勝	静 岡 県 立 大 学
委員	服 部 令	早 稲 田 大 学

第 8 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	溝 上 智 恵 子	筑 波 大 学
委員	石 原 康 利	明 治 大 学
委員	栗 原 裕	愛 知 大 学
委員	丹 治 め ぐ み	玉 川 大 学
委員	滝 口 宣 明	関 東 学 院 大 学

第 9 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	中野 美由紀	津田塾大学
委員	伊藤 彰浩	西南学院大学
委員	山田 俊	熊本県立大学
委員	渡邊 多恵子	淑徳大学
委員	田邊 昌宏	愛知大学

第 10 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	中嶋 真也	駒澤大学
委員	飯田 伸二	鹿児島国際大学
委員	風見 正三	宮城大学
委員	前島 悅子	大阪体育大学
委員	高島 隆平	京都文教大学

第 11 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	佐藤 和哉	日本女子大学
委員	小羽田 誠治	宮城学院女子大学
委員	平井 達也	立命館アジア太平洋大学
委員	正木 治恵	千葉大学
委員	長谷川 順子	佛教大学

第 12 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	中尾 泰士	北九州市立大学
委員	乾 友彦	学習院大学
委員	高橋 啓子	四国大学
委員	屋山 勝俊	神戸学院大学
委員	今村 公勇	法政大学

第 13 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	肥塚 浩	立命館大学
委員	上林 憲雄	神戸大学
委員	田中 義郎	桜美林大学
委員	宮川 裕之	青山学院大学
委員	金本 琢磨	関西学院大学
幹事	白川 優治	千葉大学

第 14 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	石川 鎮清	自治医科大学
委員	角田 直也	元国士館大学
委員	山田 剛史	関西大学
委員	吉田 俊子	聖路加国際大学
委員	池田 卓司	大阪医科大学

第 15 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	山極 伸之	佛教大学
委員	北尾 泰幸	愛知大学
委員	西谷 和彦	神奈川大学
委員	樋口 雄人	都留文科大学
委員	矢野 章広	明治大学

第 16 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	神立 孝一	創価大学
委員	大川 済植	桃山学院大学
委員	佐野 美智子	跡見学園女子大学
委員	三島 健一	福岡大学
委員	鶴田 弘樹	名城大学

第 17 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	岡田 幸宏	同志社大学
委員	金澤 哲	京都女子大学
委員	狩野 徹	元岩手県立大学
委員	宮嶋 秀光	名城大学
委員	藤田 由典	関西大学

第 18 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	渡部 英二	芝浦工業大学
委員	中鉢 欣秀	東京都立産業技術大学院大学
委員	堀井 康史	関西大学
委員	和田 洋	筑波大学
委員	勝野 友之	大阪産業大学

第 19 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	津田 裕子	神戸学院大学
委員	小山田 恭子	聖路加国際大学
委員	酒巻 利行	新潟薬科大学
委員	長澤 一樹	京都薬科大学
委員	市原 克己	東邦大学

第 20 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	渥美 寿雄	近畿大学
委員	千葉 千枝子	淑徳大学
委員	藤澤 秀幸	清泉女子大学
委員	宮下 毅	文教大学
委員	佐藤 徹	龍谷大学

第 21 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	佐野 幸子	福岡女学院大学
委員	杉本 篤史	東京国際大学
委員	藤井 恭子	皇學館大学
委員	渡邊 均	西南学院大学
委員	齋藤 淳志	相模女子大学

第 22 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	秋田 恵一	東京医科歯科大学
委員	中野 綾美	高知県立大学
委員	岡田 英孝	関西医科大学
委員	檜垣 靖樹	福岡大学
委員	亀山 哲也	日本福祉大学
特別大学評議委員	前田 早苗	公益財団法人大学基準協会

第 23 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	清水 洋子	東京女子医科大学
委員	香崎 智郁代	九州ルーテル学院大学
委員	櫻井 宏明	藤田医科大学
委員	白尾 久美子	日本福祉大学
委員	奥村 勝巳	淑徳大学

第 24 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	杉本 和弘	東北大学
委員	大沼 義彦	日本女子大学
委員	佐藤 滿	立命館大学
委員	永石 信	中京大学
委員	松岡 尚志	創価大学

第 25 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	坂 本 健	白百合女子大学
委員	大 谷 実	金 沢 大 学
委員	野 尻 紀 恵	日本福祉大学
委員	向 高 弘	神 戸 薬 科 大 学
委員	落 合 嶽 己	麻 布 大 学
幹事	半 田 勝 久	日本体育大学

第 26 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	加 藤 知	関西学院大学
委員	佐 藤 仁	福 岡 大 学
委員	鷹 野 一 朗	工 学 院 大 学
委員	山 本 雄 吾	名 城 大 学
委員	福 元 摩 湖	神 奈 川 大 学

第 27 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	坂 原 明	聖カタリナ大学
委員	江 本 リ ナ	日本赤十字看護大学
委員	大 久 保 研 之	聖 徳 大 学
委員	沖 智 之	中 村 学 園 大 学
委員	菅 原 光 則	神 奈 川 歯 科 大 学

第 28 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	若 森 実	東 北 大 学
委員	楓 木 恵 一	神 奈 川 歯 科 大 学
委員	坪 川 宏	東 北 福 祉 大 学
委員	森 山 啓 司	東 京 医 科 歯 科 大 学
委員	黒 田 幸 司	杏 林 大 学
幹事	島 本 英 樹	大 阪 大 学

第 29 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	山 本 健	久 留 米 大 学
委員	秋 元 義 弘	杏 林 大 学
委員	瀬 戸 奈 津 子	関 西 医 科 大 学
委員	村 崎 か が り	東 京 女 子 医 科 大 学
委員	鈴 木 英 二	北 海 道 医 療 大 学
幹事	高 田 英 一	神 戸 大 学

第 30 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	立 石 浩 一	神 戸 女 学 院 大 学
委員	井 上 匡 子	神 奈 川 大 学
委員	黒 田 由 彦	相 山 女 学 園 大 学
委員	溝 口 剛	国 際 基 督 教 大 学
委員	櫻 井 卓	東 北 学 院 大 学

第 31 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	猪 股 俊 光	岩 手 県 立 大 学
委員	大 石 泰 章	南 山 大 学
委員	中 沢 正 利	東 北 学 院 大 学
委員	藤 田 和 弘	龍 谷 大 学
委員	石 黒 隆 文	青 山 学 院 大 学

第 32 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	竹 内 比 呂 也	千 葉 大 学
委員	大 野 栄 治	名 城 大 学
委員	松 山 賢	東 京 理 科 大 学
委員	山 口 浩	駒 澤 大 学
委員	公 門 健	西 南 学 院 大 学

第 33 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	中 村 信 次	日本福祉大学
委員	伊 沢 俊 泰	名古屋学院大学
委員	篠 原 正 典	佛教大学
委員	花 田 昌 宣	熊本学園大学
委員	藤 谷 徳 孝	大 谷 大 学

第 34 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	増 田 尚 史	広島修道大学
委員	金 谷 信 子	広島市立大学
委員	永 綱 憲 悟	亜細亜大学
委員	吉 田 広 穏	関東学院大学
委員	竹 内 康 弘	京都女子大学

第 35 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	石 黒 直 子	東京女子医科大学
委員	井 関 祥 子	東京医科歯科大学
委員	前 田 修 子	金沢医科大学
委員	森 龍 彦	大阪医科大学
委員	大 谷 啓 輔	神戸学院大学

第 36 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	平 栗 健 二	東京電機大学
委員	小 川 和 彦	大阪産業大学
委員	松 尾 敬 二	福岡工業大学
委員	山 口 仁 宏	近畿大学
委員	新 山 文 洋	東洋大学

第 37 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	小 舘 亮 之	津田塾大学
委員	江 口 充	近畿大学
委員	嶺 越 恒	九州大学
委員	箕 浦 真 生	立教大学
委員	手 島 秀 樹	東京農業大学

第 38 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	米 山 裕	立命館アジア太平洋大学
委員	太 田 洋	東京家政大学
委員	小 山 内 優	創価大学
委員	藤 潤 文 子	神戸大学
委員	村 岡 孝 之	京都外国语大学

第 39 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	岡 田 龍 樹	天理大学
委員	春 日 由 香	都留文科大学
委員	田 中 利 光	敬和学園大学
委員	深 津 謙 一 郎	共立女子大学
委員	根 本 和 彦	津田塾大学

第 40 分科会

役名	氏 名	所 属名
主査	半 谷 俊 彦	和光大学
委員	田 中 孝 男	九州大学
委員	丹 生 裕 一	就実大学
委員	中 山 恵 子	中京大学
委員	竹 井 和 典	芝浦工業大学

第 41 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委員	河 本 直 樹	京 都 文 教 大 学
委員	木 室 義 彦	福 岡 工 業 大 学
委員	松 中 義 大	東 京 工 芸 大 学
委員	伊 従 記 章	玉 川 大 学

第 42 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	朝 比 奈 英 夫	京 都 光 華 女 子 大 学
委員	石 垣 理 子	昭 和 女 子 大 学
委員	稻 垣 大 輔	杏 林 大 学
委員	田 中 昌 弥	都 留 文 科 大 学
委員	赤 羽 正 行	日 本 女 子 大 学

第 43 分科会

役名	氏 名	所 属 名
主査	白 幡 晶	城 西 大 学
委員	中 山 尋 量	神 戸 薬 科 大 学
委員	濱 島 義 隆	静 岡 県 立 大 学
委員	渡 部 徹 郎	東 京 医 科 齒 科 大 学
委員	福 嶋 隆 昭	愛 知 学 院 大 学

③ 2023 年度大学財務評価分科会名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	小 林 慎 哉	愛 知 大 学
委員	大 庭 慎 二	早 稲 田 大 学
委員	真 井 誠	立 正 大 学
委員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委員	徳 田 守	金 沢 工 業 大 学
委員	豊 田 耕 三	立 命 館 大 学
委員	平 井 雪 恵	立 教 大 学
委員	平 山 崇	西 南 学 院 大 学
委員	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学
委員	松 本 香	公認会計士松本香事務所

④ 2023 年度大学財務評価分科会国・公立大学部会名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学
委員	長 島 良 明	筑 波 大 学
委員	宮 野 孝 志	岩 手 県 立 大 学

⑤ 2023年度大学財務評価分科会私立大学部会名簿

私立大学 第 1 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 田 守	金 沢 工 業 大 学
委員	川 住 康 志	関 西 医 科 大 学
委員	鈴 木 邦 仁	北 海 道 医 療 大 学
委員	春 川 孝 行	慶 應 義 塾 大 学

私立大学 第 2 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	大 庭 慎 二	早 稲 田 大 学
委員	梅 本 達 弥	名 城 大 学
委員	神 谷 優 子	学校法人芝浦工業大学
委員	藤 川 祥 行	北 里 大 学

私立大学 第 3 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	豊 田 耕 三	立 命 館 大 学
委員	加 藤 啓 介	中 京 大 学
委員	川 野 耕	福 岡 大 学
委員	野 村 浩	東 洋 大 学

私立大学 第 4 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	真 井 誠	立 正 大 学
委員	和 泉 巧	東 京 理 科 大 学
委員	住 本 武 司	神 戸 学 院 大 学
委員	望 月 肇	日 本 工 業 大 学

私立大学 第 5 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	平 井 雪 恵	立 教 大 学
委員	田 川 博 士	中 央 大 学
委員	福 田 尚 登	南 山 大 学
委員	渡 邊 泰 教	跡 見 学 園 女 子 大 学

私立大学 第 6 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	平 山 崇	西 南 学 院 大 学
委員	大 驛 康 也	津 田 塾 大 学
委員	尾 関 一 寛	阪 南 大 学
委員	坂 本 康 浩	学 校 法 人 関 西 大 学

⑥ 2023 年度改善報告書検討分科会名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	野 澤 康	工 学 院 大 学
委員	伊 藤 彰 英	麻 布 大 学
委員	臼 井 実 稲 子	駒 沢 女 子 大 学
委員	岡 部 雅 人	岡部公認会計士事務所
委員	中 岡 泰 子	四 国 大 学
委員	松 本 香	公認会計士松本香事務所
委員	山 口 数 宏	同 志 社 大 学
委員	吉 木 岳 哉	岩 手 県 立 大 学
特別大学 評価委員	前 田 早 苗	公益財團法人大学基準協会

(11) 2023年度大学評価のスケジュール

2022年	11月30日	申請大学より大学評価申請書の提出
2023年	2～3月	大学評価委員会による2023年度大学評価の体制に関する検討
	3月31日	申請大学より大学評価関連資料の提出
	4月下旬	評価者研修セミナーの開催（2023年度の評価の概要及び主査・委員が行う作業に関する説明）
	4月下旬～6月下旬	委員による「大学評価結果（分科会原案）」の作成
	5月22日	第1回大学財務評価分科会の開催
	6月下旬～8月下旬	主査による「大学評価結果（主査原案）」の作成 大学評価分科会の開催（「大学評価結果（分科会案）」の作成）
	8月上旬～9月下旬	「大学評価結果（分科会案）」の申請大学への送付
	8月1日、8月2日	第2回大学財務評価分科会の開催（「大学評価結果（分科会案）」（財務評価部分）の作成）
	9月上旬～10月下旬	各申請大学に対する実地調査の実施 「大学評価結果（分科会最終案）」の作成
	11月10日	第3回大学財務評価分科会の開催（「大学評価結果（分科会最終案）」（財務評価部分）の作成）
	12月8日～9日	第20回大学評価委員会正副委員長・幹事会の開催（「大学評価結果（分科会最終案）」を審議し、「大学評価結果（委員長案）」を作成）
2024年	1月12日～13日	第62回大学評価委員会の開催（「大学評価結果（委員長案）」を審議し、「大学評価結果（委員会案）」を作成）
	1月22日	「大学評価結果（委員会案）」を申請大学へ送付
	3月9日	第63回大学評価委員会の開催（「大学評価結果（委員会案）」に対する大学からの意見について採否を審議し、「大学評価結果（案）」を作成）
	3月26日	第547回理事会の開催（「大学評価結果（案）」の承認）

※委員会・分科会等の開催方法については(4)参照のこと。